

# 秀峰蘭岳

室蘭工業大学同窓会  
札幌支部設立70周年記念誌



# 秀峰蘭岳

室蘭工業大学同窓会

札幌支部

設立70周年記念誌

## 目次

---

ごあいさつ	-----	1
70周年に寄せて	-----	2
70周年記念事業の概要	-----	7
令和6年度札幌支部総会および講演会・懇親会の報告	----	8
水元技術士会活動報告	-----	10
同窓の活躍(職場内組織紹介)	-----	11
札幌支部活動報告	-----	16
70周年記念座談会	-----	18
札幌支部 沿革	-----	23
記録写真	-----	25
札幌支部役員名簿	-----	29
あとがき		
室蘭工業大学明德寮 寮歌		

## 室蘭工業大学同窓会札幌支部設立70周年を記念して ～設立70周年記念誌の発刊に際して～

札幌支部 支部長 中村 範仁 (電気工学科 昭和62年卒)



札幌支部設立70周年にあたって記念誌を発刊することとなりました。発刊にあたり、支部長としてご挨拶申し上げます。

室蘭工業大学同窓会札幌支部は、昭和29年2月17日に第1回の総会を丸井デパートの食堂で、松井亮太郎(機械工学科 昭和16年卒)様を支部長として、110名の参加で開催され、ここに札幌支部が誕生いたしました。当時の支部会員は400名程度とのことでした。

2024年(令和6年)5月17日、前 高宮札幌支部長が、同窓会会長に就任することになり、「後任に中村 頑張ってくれ!」とご指名をいただきました。札幌支部から同窓会会長を送り出す大事な時なので、「副支部長の皆さんと力を合わせて頑張るしかない!」と快く受けさせていただきました。

日本経済も衰退する中、室蘭工業大学も理工学部と生まれ変わろうとしており、大学を支える同窓会は「大学と連携し、何をすべきなのか」講演会の講師のみなさまから意見を聞いたところ、「卒業生がどのような場所に就職して、どのような仕事をして活躍しているのか、その生きた経験を在學生と交流し、勉学や研究に生かしていきたい。そして、就職につなげていきたい。そのために、多くの卒業生がいる札幌支部と協働していきたい。」と熱く語ってくれました。それを受けて、「個人情報取扱いなど厳しい状況であるが、知恵を出し合って取り組みたい。」と講師の方、高宮支部長(当時)と約束させていただきました。

一方、現在の北海道、札幌ではコロナ明けの建設ラッシュ、ラピダス建設・防衛局の施設更新も重なり、人手不足、働き方改革で、建物や施設の設計、工事の契約不調がひどい状況になっています。特に、建築、電気・機械設備が例年にないほどひどい状況になっています。このままでは、インフラが悲惨な状況になってしまう可能性があります。

優秀で元気な室蘭工業大学卒業生の多くは、道外流出しています。道内で活躍する企業(土木・建築・電気・機械設備など)を知っていただきたい。そして自分に合った信頼できる会社に、両親の家から通え、同窓の先輩に悩みも相談でき、安心して仕事に専念できる環境に就職していただきたい。そのためにもこの同窓会の果たす役割は大きいと思います。さらに、ご両親の下で子を産み育てる、その後両親の面倒を見ることができる。このことは、身近なところからできる少子高齢化対策の一つだと思います。

是非これからの室蘭工業大学がますます発展し、北海道が元気になるために一緒に力を発揮していきたい。10年後の設立80周年には、少しでも好転しているように願って。

### 「価値づくり」にむけて

国立大学法人室蘭工業大学 学長 松田 瑞史



同窓会札幌支部設立70周年、誠におめでとうございます。本学が戦後の1949年(昭和24年)に新制大学として再出発してから今年で75周年ですから、その節目の年の5年後にはすでに札幌の地で産声を上げていたこととなりますね。以来、各地にある本学同窓会組織の中でも最も多くの会員を有し、「技術講演会」から「麻雀大会」「新年交礼会」まで様々な活動を通じて、会員相互の、あるいは母校である本学との関係を深めてきて頂いております。改めてそれらの活動実施に対して敬意を表するとともに、日頃より本学の教育・研究や学生の諸活動に多大なご支援を賜っていること、本紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、室蘭工業大学は、2018年(平成31年)4月に大学設立以来初めて、それまでの工学部から理工学部へと改組し、その卒業生を2022年度(令和4年度)から世の中へと輩出し始めたところです。本学の理念は「創造的な科学技術で夢をかたちに」ですが、今年度からはこの理念のもとに、「真なる探究心から未来の価値づくりを。」を、新たなキャッチコピーとして標榜しております。「価値」には、工学的にはハードウェアだけではなくソフトウェアも含む「もの」が、理学的には原理探究による「知見」が、それぞれの成果物として該当するかもしれません。教育・研究に携わる教職員の立場だけではなく、研鑽中である現役学生の立場からも将来への志として、このキャッチコピーが使われると良いなと思うとともに、本学は今後もずっと、社会に対して未来の「価値づくり」をする場でありたいと強く願っております。理工学部カリキュラムにおいては、ICTやAIの本質を理解して使いこなし、ものづくり・価値づくりに貢献できる学生諸君を育てる理工系大学ならではの理数・情報教育を推進していますし、大学院博士前期課程(MC)においても、情報系の共通必修科目や各専門コースごとの内容を活かした情報科目の充実を図っています。さらに2024年(令和6年)4月から情報電子工学系専攻内に新たに開設した「共創情報学コース」においては、「色々な専門分野と共に創る情報学」というコンセプトのとおり、入学者は、必ずしも情報分野に限らない全ての理工学系諸分野の学部卒業生であり、またMC修了後の就職先についてもその学生の学部時代の専門教育学修を活かす形で、産業界のすべての分野と想定しています。このように本学は、いわば、「専門×情報」という分野融合型の高度理工系人材の育成により、「価値づくり」を推進しております。

本学だけの事ではありませんが、同窓会活動に参加する若いOB・OGが減少傾向にあることもあり、同窓会はなかなか難しい時代を迎えていると認識しています。本学同窓会においても高宮新会長のもとで「学生が現役の時代から、卒業後の同窓会をイメージできるようなPR活動を企画している」と伺っており、今後新たな局面が訪れることを期待しております。

最後になりますが、札幌支部のますますのご発展を、そして同窓会および本学の発展もあわせて祈念して、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

### 室蘭工業大学同窓会札幌支部 設立70周年記念を祝して

室蘭工業大学同窓会 会長 高宮 則夫 (前札幌支部長、  
開発工学科 昭和47年卒)



室蘭工業大学同窓会札幌支部設立70周年を迎えられました事、心よりお祝い申し上げます。

この70年の長きに渡りご尽力いただきました先輩諸氏並びに役員の皆様方に心から感謝と御礼を申し上げます。また、これまでの札幌支部の活動が同窓会に大きな貢献をされてきました事に敬意を表します。私自身、この札幌支部とともに人生を歩んできたものとして大きな喜びでもあります。

私は卒業後(1972年)本州で就職し、その後、札幌市役所に転職してきました。その間、同窓会との関係はありませんでしたが、職場で三井尚先輩(電気工学科 昭和41年卒)と出会うことで、札幌市役所の水元会そして札幌支部の部員として、30代半ばから同窓会の世界に関わることとなり現在にいたっております。

当時の札幌支部の役員には、吹田侍一先輩(機械工学科 昭和40年卒)、山田洋司先輩(第二部機械工学科 昭和38年卒)、山本強先輩(金属工学科 昭和41年卒)達がおられ、母校愛の強さとパワーに常に圧倒されました。役員会もいつも活気に溢れておりました。その頃は、景気もよく会議の後には、先輩達からよくご馳走になり深夜まで盛り上がりました。

札幌支部では、本部の同窓会名簿とは別に札幌支部名簿(約3,600名、勤務先、役職名等記載)を隔年で発行しておりました。支部部員が手分けして各企業と連絡を取り名簿を作成したのです。この名簿が札幌支部のネットワークの強さであり、活性化の源であったと思います。現在では、本部名簿と同じく発行していません。

支部設立70年の間に、1984年(昭和59年)に設立30周年記念式・祝賀会を東急ホテルで、350名を超える規模で盛大に行われました。当時の横路知事、板垣札幌市長も来賓としてご出席をいただいております。その後、2004年(平成16年)に設立50周年記念式・祝賀会を札幌グランドホテルで開催し270名の参加をいただく等、実行委員長(副支部長)であった私は無事に責任を果たすことができました。2015年(平成27年)には、支部設立60周年の節目として「記念誌」の発行をいたしました。2019年(令和元年)6月に瀬川修一支部長の後任として、12代目の札幌支部長に私が就任し、2024年(令和6年)6月までの5年間務めました。そして後任には人格・能力とも優れた中村範仁氏に引き継いでいただきました。

このような同窓会活動をとおして、先輩・同輩・後輩など様々な方々との出会いがありました。それらは決して無駄な時間ではなく、私の人生を豊かにそして成長をさせてくれたと思っています。私は、同窓会とは「出会いの場」と考えております。ぜひ、皆様には同窓会の活動に参加して頂き、沢山の出会いを経験して欲しいものと思います。

私は2024年(令和6年)5月に同窓会長に就任し、4つの重点的に取り組む事項についてホームページで表明させていただきました。一つは、同窓のネットワークの強化。二つ目は、母校との連携の強化。三つ目は、同窓への支援強化。四つ目は、コミュニケーションの強化です。これらの実現と、同窓会の5年・10年先の目指す方向と目標を明確にするため「同窓会ビジョン」の策定に着手しました。現在、理事会内で策定作業を行っており、年度内にまとめ皆様には2025年(令和7年)5月に公表の予定で進めております。

策定される同窓会ビジョンの目標をしっかりと実現していくには、同窓皆様のご理解とご協力が不可欠です。このため、同窓会をリードする札幌支部の皆様には、いま以上のお力添えを賜りたくよろしく申し上げます。

最後に、札幌支部が80年、100年への未来に向かって益々ご繁栄することを祈念し、設立70周年のお祝いのご挨拶といたします。

### 札幌支部への大きな期待

室蘭工業大学同窓会 理事長 戎 修二 (応用物性学科 昭和62年卒)



室蘭工業大学同窓会札幌支部が70周年を迎えられますこと、同窓会理事長として心よりお慶び申し上げます。また記念誌への寄稿の機会をいただき、深く感謝申し上げます。

恥ずかしながら、同窓会の本部・支部ともにその歴史について十分に承知しておらず、自身の年齢を超える70年前の状況を調べてみました。70年前ということは室蘭工業大学が新制大学として新たなスタートを切って最初の卒業生を輩出した時期にあたるかと存じます。この時期は、日本が高度成長期に入る前夜でもあり、設立に携わった方々が国立工業大学を卒業したという自負と気概を胸に、支部を創り上げたことに強く感銘を受けます。その後、支部長を初めとする同窓生のご尽力により、支部は持続・発展を遂げ、70周年を迎えられたことに心より敬意を表します。記録を振り返ると、札幌支部は同窓会本部よりはるかに古い歴史を刻んでおり、本部の設立にも大きなご尽力いただいたことが伺えます。

札幌市が現在のように大都市へと成長する過程に関与してきた同窓生が多くいらっしゃることは、想像に難くありません。実際、札幌市の人口は支部設立当初の約42万人から今日の200万人へと急成長を遂げました。先日、大学の3年先輩で札幌出身の方と話していた際、「子供の頃は大通りまでバス」と言われ、改めてその時代背景に思いを馳せました。地下鉄の開業は1971年で、私自身の記憶にも開業数年後の様子が朧げに残っています。こうした目覚ましい都市発展を見守り、またその一翼を担ってきた同窓生たちが築いてきた札幌支部が、次世代へと継承されていく過程に立ち会っていることを実感しています。

現在、同窓会は道内12支部、道外15支部に支えられて運営を行なっております。この中で、札幌・室蘭・関東・東海・関西の5支部を基幹支部と位置付けておりますが、特に札幌支部は同窓会活動実績から、最も重要な支部の一つと言えるでしょう。札幌支部の所管地域は大学に近い大都市圏であり、同窓生も多く、今後も多くの卒業生を受け入れていただけることは間違いありません。

札幌支部は、室蘭工業大学同窓会全体の活動にも大きく貢献してこられました。近年は、札幌支部において新年交礼会を開催し、札幌近郊の同窓生を中心とした産官学の交流を深めてきました。2019年からは同窓会本部主催となりましたが、実質的に運営を担っていただき、金融関係を含む多様な分野での交流の場を広げてこられました。また、札幌支部の有志が室蘭工業大学の要請に応じて、大学の地域貢献を下支えする活動を始められました。この活動は2022年からは同窓会の組織として設立した社会連携大学協力会へと継承され、今日に至っています。2023年には、札幌でカーボンニュートラル情報交換会を開催し、産官学金の協力体制を構築し、社会問題解決に向けた活動を進めています。さらに2024年には、本会の活動が室蘭工業大学と美瑛町との包括連携協定の締結という形で実を結びました。このように札幌支部の活動は、室蘭工業大学の社会共創に大きな力を与えており、今後の発展にも寄与していくことを確信しております。

最後に、中村支部長はじめ札幌支部の皆様が、今後も室蘭工業大学同窓会を牽引し、さらに大学の発展に貢献くださることを心より願い、本稿を締めくくらせていただきます。

### 室蘭工業大学同窓会札幌支部設立70周年に寄せて

三井 尚 (電気工学科 昭和41年卒)



この度は室蘭工業大学同窓会札幌支部設立70周年おめでとう御座います。

支部設立が今年で70年にもなるのかと思うと、これまで同窓会活動に携わってきた私といたしましては感慨深いものがあります。これまでの同窓会活動に携わってきた数々の中から思い出せる事柄について述べてみたいと思います。

先ず、私が同窓会活動に携わるようになったきっかけですが、それは1977年(昭和52年)の時でした。当時同窓会の札幌支部長だった開発工学科 昭和16年卒の清水惇先輩から、幹事の一人が亡くなったので幹事になってほしいと頼まれたことから始まります。これまで同窓会の存在すら知らなかった私ですが、同窓会活動に加わることになりました。これまで50人程度しか集まらなかった同窓会も電話戦術で一気に110名となりました。それ以降同窓会の集まりは200名近くになり2度ほど200名を越える集まりの時もありました。

同窓会活動での大きな思い出の一つは、1984年(昭和59年)の札幌支部設立30周年事業でした。この記念事業の目玉は、北海道を代表とする芥川賞受賞作家 高橋揆一郎さんの特別講演を開催したこと、記念誌の発行でした。この時から札幌支部が発行する会報の名前は「秀峯蘭岳」と決まりました。私はこれまで、事務局長の機械工学科 昭和40年卒の吹田侍一先輩や、第二部機械工学科 昭和38年卒の山田洋司先輩の下で事務局員として同窓会活動を続けてきましたが、2003年(平成15年)に機械工学科 昭和34年卒の吉田晃治先輩から引き継ぎ、第9代目の支部長となりました。その翌年の2004年(平成16年)には支部設立50周年を迎え、記念誌を発行して盛大に記念事業を執り行いました。これも忘れられない思い出の一つとなりました。

しかし、私が支部長の時に私が最も頼りとしておりました吹田侍一先輩が肺癌で亡くなられ、その葬儀で私が弔辞を読むことになったことは、今なお悲しい思い出として私の心に深く刻まれております。そして、2009年(平成21年)に私が本部同窓会の副会長になったことをきっかけに支部長を建築工学科 昭和45年卒の武田寛さんに引き継ぎました。それ以来私は顧問として現在に至っております。

2019年(令和元年)には山田洋司先輩が亡くなられたことも大きな悲しみの一つであります。

私は室蘭工業大学同窓会札幌支部が現在のように組織力のある素晴らしい会へと発展することが出来たのは偏に吹田先輩と山田先輩お二人の牽引力の賜物と思っております。お二人の同窓会へのご尽力に感謝を申し上げるとともに心よりご冥福をお祈りいたします。

最後になりますが、室蘭工業大学同窓会札幌支部が全国の支部の模範となりうるように力強く発展されることを願っております。

### 支部長時代を振り返り思う事

瀬川 修一（土木工学科 昭和44年卒）



2024年(令和6年)、同窓会札幌支部が設立70周年を迎えたことを、御祝いを申し上げます。私が2013年(平成25年)に、支部長のバトンタッチを受け、2019年(令和元年)までの6年間の間に、60周年を迎えました。60周年は2014年(平成26年)でしたが、当時の本部同窓会評議会(札幌大会)が同年5月開催と重なり、歓迎体制を整えるために、次年度の2015年(平成27年)6月に延期し、記念事業を実施しました。同評議会との合同懇親会は、お陰様で220名の参加を得て大盛況な懇親会となりました。

同窓会活動で、いつも議論になったのは、同窓の交流や活動への参加拡大を図ることでした。拡大ツールの一つは同窓会名簿で、その名簿発行中止は残念な事でした。活動の拠点となる支部事務所は、賃貸満了で2016年(平成28年)7月に、それまで賃貸をしていた南3条東3丁目から札幌駅近くの現事務所に活動の拠点を移転しました。

同窓会の役割は、同窓生の親睦と母校の発展支援ですが、同窓間の集まりや結びつきを高めるべく、各専攻系統別の会や同窓勤務箇所等への働き掛けなどを行い、2017年(平成29年)に全国支部に先駆けて新年交礼会の開催に取り組みました。この新年交礼会を2年間実施し、同窓会懇親会の域から、当時本部理事会の「同窓会活性化委員会」において同窓会活性化事業の一環として、2019年(平成31年)からは、本部主催・支部共催で開催することになりました。当時の本部 泉田孝会長や板倉賢一理事長と、札幌・室蘭の各企業(特に札幌では経済同友会、金融機関等も)を分担して呼びかけを行い、「室蘭工業大学を応援する集い」とし開催することとなり、現在までに踏襲されていることは嬉しいことです。また、同窓会への参加を促進するため2015年(平成27年)の事業計画に「女子会の設立」を盛り込みました。母校では、令和7年度の入試から、女子の入学は今までの総合選抜から、女子枠を設けるとのことです。卒業生の受け皿をきちっとしておくことは必要に思えます。一時、小樽商科大学同窓会(緑丘会)との交流を本部の事業にも取り上げて頂き、支部が支える形で進め、特にゴルフ部門では参加率の低下も有り、現在では取りやめに至ったのは、残念なところ です。

今日、北海道地区の注目度が高いエリアは、ラピダスの建設中の千歳市、大規模データセンター設置や計画の進む石狩市、苫小牧東部にかけての石狩・札幌・千歳・苫小牧間のゾーンです。道内外からの入学志望者もこのゾーンへ視線が向きがちです。母校への志望意欲を高めていくには、同窓生の活躍や母校の研究活動は言うまでも有りますが、知的好奇心を醸し出す母校の学内雰囲気・環境を醸成していくことも必要に思えます。次の80周年に向けて、同窓会活動の親睦と更なる母校の支援に、基幹支部である札幌支部の役割・重要性がますます大きくなる事を期待します。

# 70周年記念事業の概要

---

札幌支部設立70周年記念事業実行委員長

札幌支部 副支部長 宮崎 雅年 (応用物性学科 昭和59年卒)

室蘭工業大学同窓会札幌支部は、1954年(昭和29年)に設立されてから、今年で70周年を迎えました。設立当時のことは、30周年記念誌に次のように記載されています。

「昭和24年1月に札幌通産局同窓生が中心となり支部結成の準備委員会を開催する。

昭和28年12月札幌鉄道局の同窓生が業務を引き継ぐ。

新松英一氏が結成準備の業務を引き継ぎ、昭和29年1月11日に札幌西林にて総会打ち合わせを行った。」

当時は約400名の同窓生が札幌に在住していましたが、当時は支部名簿がなかったようで、大変苦労したと思われま

す。「総会開催通知(220枚配送)のうち、住所不明で返りましたもの12%、出席との回答22%、欠席との回答18%の約半分しか返ってきません。それ故、葉書、電話連絡不可能な方もあるので北海道新聞、北海道放送を利用してご通知した次第。かくして昭和29年2月7日に丸井デパートの食堂で出席者110名という盛会に司会者の嬉しい悲鳴のもとに第1回総会を開催しました。」

このことから、設立時の先達の苦勞が感じられます。連絡手段として電子メールを活用することになった現在ですが、支部員の名簿を維持することの大変さは当時と何ら変わることはありません。今日、同窓会札幌支部が存在するのは先達のご苦勞の賜物と感謝せずにはいられません。私たちは先輩諸兄が築いた同窓会札幌支部を更に発展させ、次代に繋げていかなければと思っております。

1984年(昭和59年)、30周年のときは山本重枝実行委員長が中心となり、記念式典・記念祝賀会には約350名の出席があり大変な盛会となりました。2004年(平成16年)、50周年のときは高宮則夫実行委員長が中心となり、記念式典・記念祝賀会には来賓を含めて325名の出席があり大変な盛会となりました。2015年(平成27年)には60周年記念誌を発行しました。

平成27年以降の10年間を振り返りますと、なんとといっても新年交礼会の開催が挙げられます。また、2020年(令和2年)から世界中に流行した新型コロナウイルス感染症が大きな出来事として記憶に残ります。対面でのイベント開催は自粛、支部役員会議もオンラインでの開催となりました。感染防止対策を実施してのイベント開催やオンライン開催など工夫を凝らしながらも、イベントを継続して開催しました。昨年、2023年(令和5年)5月以降、感染症法上の取り扱いがインフルエンザと同じ5類相当となり、ようやくコロナ禍前の状態でのイベント開催が可能となりました。

さて、2024年(令和6年)に70周年を迎えるにあたり、2023年(令和5年)11月より70周年をどのように迎えるか、札幌支部役員の間で協議を進めてまいりました。その結果、令和6年に実施する札幌支部主催のイベントに「札幌支部設立70周年記念」を付記して70周年記念事業のひとつとすることとし、70周年記念誌を発行することといたしました。

70周年記念事業は以下の通りです。

## ○支部総会・講演会・懇親会

2024年(令和6年) 6月28日 18:00~21:00 ホテル札幌ガーデンパレス

記念講演：「大学をめぐる状況と室蘭工業大学の戦略」

講師：室蘭工業大学 副学長・事務局長 吉田 勇人 様

## ○秋の講演会

2024年(令和6年) 11月29日 18:00~21:00 ホテル札幌ガーデンパレス

記念講演：「自然災害と防災」

講師：室蘭工業大学 副学長・大学院工学研究科もの創造系領域 教授 川村 志麻 様

## ○70周年記念誌 発行

## 札幌支部設立70周年記念支部総会・講演会・懇親会 開催報告



札幌支部 副支部長 宮崎 雅年 (応用物性学科 昭和59年卒)

支部設立70周年を迎えた札幌支部は、令和6年6月28日にホテル札幌ガーデンパレスにて令和6年度の支部総会・講演会・懇親会を開催いたしました。講演会・懇親会では、高宮新同窓会会長、吉田副学長・事務局長様のご参加をいただき盛会なものとなりましたので、報告をさせていただきます。

### 1. 支部総会について

総会には高宮同窓会長ほか84名が参加され、令和5年度事業報告及び決算報告並びに令和6年度事業計画及び予算案が承認されました。

令和6年度の事業計画は、会員相互の親睦・交流を図るため、「親睦ゴルフへの助成」「水元技術士会との連携」「秋の講演会」等に取り組むことを決めました。

また、支部会則の改定、支部役員の変更について承認をいただきました。

(新役員は後ページに記載)

### 2. 講演会について

講演会は95名の参加で開催されました。

講師は吉田副学長・事務局長様にお越し、「大学をめぐる状況と室蘭工業大学の戦略」と題して40分間のご講演をいただきました。

### 3. 懇親会について

講演会に引き続き102名の方が懇親会にご参加をいただきました。所用により欠席した中村新支部長の挨拶文を田中新参与から頂戴し、ご来賓を代表して吉田副学長・事務局長様のご挨拶をいただきました。また、長年にわたり札幌支部長としてご尽力いただいた高宮新同窓会会長から支部長退任のご挨拶をいただき、札幌支部から感謝状を贈呈して、山本新副支部長による乾杯の発声で懇親会に入りました。

懇親会では、今年卒業した7名の新人の紹介・挨拶、そして近況報告と続きました。

歓談の時間もあっという間に過ぎ、宴もたけなわではありましたが、数年ぶりのエール、肩を組んでの寮歌斉唱および万歳三唱に続き、田中新参与による閉会の辞で盛会のうちに解散となりました。

室蘭工業大学同窓会札幌支部

大学をめぐる状況と室蘭工業大学の戦略

Lecturer introduction

- 1989.4 北海道大学人事課
- 1993.10 文部省高等教育委員会課
- 2005.4 独立行政法人大学評価・学位授与機構評価事業部企画調整課長
- 2008.4 独立行政法人国立文化財機構東京国立博物館総務課長
- 2010.4 北海道大学総務課長
- 2012.4 文部科学省高等教育局国立大学法人支援課国立大学戦略室室長補佐
- 2018.4 九州大学副総務課長
- 2020.4 北海道大学支部長
- 2022.4 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構評価事業部長
- 2024.4 室蘭工業大学 副学長・事務局長

講師：吉田 勇人 氏

2024 札幌支部総会・講演会・懇親会

2024 6/28 (金)

支部総会: 18:00~18:20  
講演会: 18:20~19:00 講演会: 無料  
懇親会: 19:00~21:00 懇親会: ¥6,000

申込期限: 6月18日(火)

申込先: 札幌支部事務局長 宮崎(昭和59年卒/応用物性) E-mail: hm-miya@hepco.co.jp

主催: 室蘭工業大学同窓会札幌支部 / 後援: MONOづくりみらい共創機構

案内パンフ

# 令和6年度札幌支部総会および講演会・懇親会の報告

## 4. 今後に向けて

札幌支部では、昨年度に続き対面による総会・講演会・懇親会を90名以上の参加で開催できました。全国の支部の中にはコロナ禍後の総会開催に苦勞している支部も多数あると伺っております。また、大学の組織改編等により、出身学科別の同窓会活動では帰属不明な同窓生がおり、出身学科に依らない全学科共通の同窓会活動が必然と考えております。札幌支部の取り組みが他の支部の参考となれば幸いです。



新役員紹介



支部長挨拶代読



顧問の表彰



副学長・事務局長挨拶



吉成先生挨拶

## 集まれ、同窓技術士!!

—室蘭工業大学同窓会水元技術士会のご紹介—

水元技術士会 熊倉 聡 (開発工学科 平成2年卒)



### 1. 水元技術士会とは

水元技術士会は、室蘭工業大学を卒業した技術士などで構成し、2008年11月に設立され、今年で17年目を迎えます。設立目的は、会員相互の交流と研鑽、同窓技術士増強の支援活動を行い、母校室蘭工業大学の発展に寄与し、もって社会貢献をすることです。技術士という資格は、技術系資格の中でもっとも難関で、最高位の国家資格になります。各大学卒業生の技術士資格取得者数は、大学がどれくらい優秀な技術者を社会に輩出しているかの評価尺度の1つになっていると考え、同窓技術士の増強を目指しています。

### 2. 水元技術士会の活動状況

- 活動報告および特別講演会の開催 (年1回)
- 本学キャリアデザイン学習支援 (講師派遣、2年生を対象に先輩技術者としてのキャリア紹介)  
…2009～2019年まで本学で開催。将来目標に関する質疑応答などを実施
- 10周年記念シンポジウム、記念式典開催 …2018年7月実施
- 大学技術士会連絡協議会との情報交換 (メールによる情報交換、総会への出席)
- 水元技術士会通信の発行、同窓会誌モ・ルランへの原稿執筆  
…水元技術士会通信はVol.9まで発行
- 同窓への技術士資格取得支援 (記述論文の添削など二次試験対策)
- 同窓会札幌支部開催の講演会への共催、後援  
…本学卒業生も含む若手研究者を講師として招聘し、様々な分野の最新技術の知見を広める

### 3. 本学同窓の技術士合格状況

直近3年間における技術士の合格状況を右表に示します。本学同窓の合格率は全国の合格率より若干低い状況にあり、合格率の向上が喫緊の課題と認識しています。

室蘭工業大学卒業生の技術士合格率

	室蘭工業大学卒業生の合格率			全国の合格率		
	申込者数	合格者数	合格率	申込者数	合格者数	合格率
R3年度	265	20	7.5%	29,828	2,659	8.9%
R4年度	264	10	3.8%	29,391	2,632	9.0%
R5年度	258	23	8.9%	29,508	2,690	9.1%

### 4. 水元技術士会の情報発信

同窓技術士および技術士補などの皆さんに、今後の情報ネットワークの拡充に向け、メーリングリストへのアドレス登録をお願いしております。ご登録いただける方は、下記の連絡先までお願いします。

水元技術士会副幹事長 新沼寛明(土木工学科 平成5年卒) E-mail: niinuma@itogumi.co.jp

また、活動情報は、一般社団法人室蘭工業大学同窓会ホームページの「支部からのお知らせ」にも掲載していますので、ご覧ください。

URL <https://u.muroran-it.ac.jp/dousou/branch/水元技術士会/>